

文化発表会、盛会のうちに終わる。

文化発表会特集号

文化発表会が終わって早、1カ月と少しが経過しました。あの感動の日もついこの前のこのように感じます。展示発表は本校体育館で、合唱コンクールは「サングレートみやこ」をお借りしてという一昨年と同様の形を取りました、また、今年は数年ぶりに生徒の自主発表「カラフル」も追加で行ってみました。たくさんの保護者のみなさんに観覧に来ていただき、ありがとうございました。サングレート会場への参加保護者は、86名という多さでした。お越しくださった保護者の皆さんありがとうございました。さて、まずは恒例の「合唱コンクール」。コロナ禍になり、合唱曲は、各クラス自由曲1曲にしばり、「学年合唱」、「全校合唱」は今年も行いませんでした。以前、小学校6年生も交えて行っていた「全校合唱」が早く復活できる日を心から願っています。



全校で競った合唱コンクールの**最優秀賞は、3年2組『島唄』**

(指揮・木戸魅怜くん、伴奏・白石花奈さん) でした。男女の声量、ハーモニーのすばらしさは言うまでもなく、木戸くんの魂の指揮も魅せてくれました。

優良賞は、3年1組『COSMOS』(指揮・井上信来くん、伴奏・松井桐葉さん) と今年の

入賞クラスは、いずれも3年生でその貫禄をみせてくれました。

また、各学年が作品展示を行いました。1学年のモザイクアート「雷神」は遠くから見ると、金色に見える素晴らしい出来栄の作品で、10月のひと月、町の歴史資料博物館に展示されていました。



2年生は、職業調べの発表を模造紙で行い、その後のキャリア教育「夢授業」へと繋げてくれました。3年生は、壁画スタンドグラスに取り組み大きな作品を完成させました。ぜひとも卒業式の会場でも展示してもらいたいと思います。



数年ぶりに復活した「カラフル」も大いに盛り上がる。

全校に参加を募り、その中で有志が応募して、事前のセレクションをクリアした上で行った自主発表の「カラフル」でしたが、3年生だけではなく、1、2年生からの応募者があり、みなさんの強い参加意欲を感じました。最終的に8組のエントリーで、それぞれ素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。司会の林田くん、村上くんの軽妙な進行の中、次から次へと登場したパフォーマンスは、出演者のみなさんのパワーを魅せつけられた思いで、整然とした「合唱コンクール」とは、また違い別の空間を感じ、大いに会場が盛り上がりました。数々のダンスあり、コントあり、漫才あり、歌ありと飽きることなく、時間が過ぎていきました。本校の生徒のみなさんのパワーは、凄いなと改めて感心しました。出演者のみなさん、練習期間が短い中、頑張って発表してくれ、文化発表会のステージを大いに盛り上げてくれて本当にありがとうございました。観覧してくれていた梶口教育長さんも、「勝山中の生徒は、凄いパワーを持っているね」と感心していました。

来年の文化祭（文化発表会）への期待が早くも高まっています。

